## 人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

倫理委員会承認番号	2025-006
研究課題名	単純X線立位下肢全長像から膝の成熟度分類を作成し、膝の成熟度ご
	との Tension Band Plate による脚長補正効果を明らかとする
所属科	整形外科
研究責任者	柿崎 潤
研究期間	承認後~2025年12月31日
研究概要	○目的
	①立位下肢全長 X 線像から膝の成熟度分類を作成する。
	②膝成熟度ごとの Tension Band Plate による脚長補正術の効果を明らかにする。
	〇対象
	①2012年1月から2024年12月に当院で単純立位下肢全長像を撮影した方。
	②2012年1月から2021年12月までに大腿骨遠位で脚長補正を行い、脚長補正が完了した方。
	〇方法 当院の電子カルテより、年齢、性別、基礎疾患、術前の単純 X 線立位下 肢全長像における脚長差、膝周囲の骨成熟度(下記の分類で判定)を評 価する。 ②の方は、有効期間(脚長補正効果の続いている期間)と、脚長差補正 量についても評価する。
	○利用する項目
	単純X線立位下肢全長像を撮影した年齢、性別、基礎疾患
	単純X線立位下肢全長像における膝成熟度分類
	StageO:骨端核が骨幹端の延長まで達しない
	Stage1:骨端核が骨幹端の延長まで達するが Capping のない
	Stage2:骨端核が骨幹端の延長まで達し、Capping が生じている
	Stage3:Capping が生じ、骨端線が閉じ始めている
	Stage4:骨端線が痕跡となっている
	判定不能:骨端線が重なっており分類ができない
	有効期間(手術から抜去までの期間、あるいは手術から成長停止まで の期間)
	脚長差補正量

倫理的配慮•個人情報	本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする
の保護の方法につい	医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。
て	研究の結果を公表する際は、対象者を特定できる情報を含まないように
	します。また、研究の目的以外に、研究で得られた情報を使用しません。
	上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の
	問い合わせ先までご連絡ください。この調査へのご自分の診療録の使用
	をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでも
	お断りいただけますので、担当医あるいは下記にお申し出ください。
研究の問い合わせ先	千葉県こども病院 整形外科 佐久間昭利
	〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
	TEL: 043-292-2111
結果の公表について	個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・
	学術雑誌などで公表します。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。